

レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成30年8月24日	使用開始日	
登録診療科	血液内科	申請医師	松永 一美 化学療法委員会承認年月 平成 31年 2月
レジメン名	G-CHOP(1コース目)		
疾患名	濾胞性リンパ腫	適応の備考	CD20陽性の濾胞性リンパ腫
適応分類			
1コース日数	21 日間	総コース数	1 コース 催吐性リスク day1:最小度、day2:中等度
抗がん剤投与量・投与日	ガザイバ1000mg/body day1,8,15 エンドキサン750mg/m <sup>2</sup> 、ドキシソルピシン50mg/m <sup>2</sup> 、オンコピン1.4mg/m <sup>2</sup> 各day2、プレドニン錠100mg/body day2-6		
治療スケジュール・投与日程(投与日は●)	(day)		

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	主ルート	生食100mL	1 本 / body	30分	●							●								●					
	点滴静注	水溶性プレドニン注50mg	2 A / body		●							●								●					
2	主ルート	生食250mL	1 本 / body		●							●								●					
	点滴静注	ガザイバ注	1000 mg / body	下記	●							●								●					
3	主ルート	グラニセトロン注バッグ1mg/50mL	1 本 / body	30分	●																				
	点滴静注																								
4	主ルート	生食100mL	1 本 / body		●																				
	点滴静注	ドキシソルピシン注	50 mg / m <sup>2</sup>	30分	●																				
総投与量は500mg/m <sup>2</sup> まで。																									
5	主ルート	生食100mL	1 本 / body		●																				
	点滴静注	オンコピン注	1.4 mg / m <sup>2</sup>	30分	●																				
最大投与量は2mg/body/回を超えないこと。																									
6	主ルート	生食500mL	1 本 / body		●																				
	点滴静注	エンドキサン注 閉鎖式システム使用	750 mg / m <sup>2</sup>	2時間	●																				
7	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5分	●	●						●								●					
	点滴静注																								
8	経口投与	ポラミン錠2mg	1-3 錠 / body		●							●								●					
	経口投与	ジクロフェナク錠25mg	1 錠 / body		●							●								●					
ガザイバ投与の30分前																									
9	経口投与	プレドニン錠5mg	20 錠 / body		●	●	●	●	●																
	経口投与																								
医師の指示通り																									

【投与上の注意】

- ・プレドニン錠を服用するので、中等度催吐性に基づくデキサメタゾンの投与はしないこととする。
- ガザイバ: 0. 2または0. 22μmのインラインフィルターを使用して投与する。
- ガザイバ: 前投薬としてポラミン(2)1~3錠、ジクロフェナク(25)1錠を内服する。前投薬のプレドニン注の代わりに内服投与する場合は、プレドニン錠(5)20錠を別にオーダーする。
- ガザイバ: 投与速度は初回は12.5mL/h×30分、25mL/h×30分、37.5mL/h×30分、50mL/h×30分、62.5mL/h×30分、75mL/h×30分、87.5mL/h×30分、残りは100mL/hとする。
- ガザイバ: 2回目以降はGrade2以上のinfusion reactionが発現しなかった場合、25mL/h×30分、50mL/h×30分、75mL/h×30分、残りは100mL/hとする。
- ガザイバ: 総液量250mLに調製。